

3教科B方式 国語

一

【解答】

問一 (1) 機知 (2) 粹(「意気」も許容) (3) 避暑 (4) 難航 (5) 過敏
問二 (6) きまじめ (7) てんぷ (8) しゃじ (9) けいみょう (10) まぎ

【講評】

出題された漢字は、読み・書きとも高等学校の教科書で使用されているものです。全体に書きよりも読みの方がよくできていました。解答は、点画をはっきりと大きく、丁寧に書くよう心掛けてください。

二

【解答】

問一 ② 問二 ② 問三 ① 問四 ⑤ 問五 (1) ③ (2) ① (3) 誰の柿でもない～の仲間持ちや。
問六 ⑤ 問七 ③・⑤(順不同) 問八 ⑤

【講評】

問一・問四は語彙力、問八は文学史の知識を問う基本的な問題で、高等学校の副教材『国語便覧』などを活用した学習を勧めます。問三・問五(1)は傍線部の前後をよく読んで、文脈に合った意味を判断します。問二・問五(2)(3)は主人公文吾の心理や独自の価値観を捉える問題、問六・問七は母と文吾の人物造形を読み取る問題です。いずれも選択肢を選ぶにはまず、本文に書かれていること、書かれていないことをはっきり見分けましょう。問五(3)の抜き出し問題はよくできていましたが、「一文」を抜き出せという設問の条件を見落としのために減点となる例が目立ちました。この大問で正答率が特に高かったのは問六・問七、低かったのは問八でした。

三

【解答】

問一 A ① B ⑤ C ③ 問二 a ⑤ b ③ c ⑥ d ④ e ⑧
問三 (1) ② (2) ③ (3) ① (4) ② 問四 ② 問五 ④ 問六 空しき心地
問七 ②・④(順不同) 問八 ⑤

【講評】

問一は基本単語、問二は基本的な文法を確認する問題です。問三は主語を答えさせて、敬語の使用や文脈から正確に読解できているかを確認しました。問四・問五は内容読解の問題です。問四は、直前の尊敬語「おはします」に着目しながら、文脈を読解します。問五は、何に対して「なかなか」と言い、何を「怠る」と言っているのかを読み取ります。問六は喪失感を端的に表す語句(上記)が正解ですが、間接的に表す語句を答えた場合にも中間点を与えました。問七は文章全体の理解度を問う問題。問八は基本的な文学史の問題です。この大問で正答率が特に高かったのは問一A C・問三(2)、低かったのは問一B・問五・問七でした。

四

【解答】

問一 A ⑤ B ① C ③ D ④ 問二 a ⑤ b ⑤ c ④ d ② e ① 問三 ②・⑤(順不同)
問四 X ① Y ⑤ 問五 進化とは、～とである。 問六 ③・④(順不同)

【講評】

問一は前後の文脈から判断します。問二は基本的な語句の意味を問うていますが、前後の文脈からも判断できるはずですが。問三は「あてはまらない」ものを選びます。本文では人間の退化には言及していません。また、環境への適応力については、それぞれの動物が「動物界の先頭に立っている」とあります。問四も前後の文章がヒントになります。Xは直後に「進化の逆行」、Yは前の行に「正の自然淘汰」とあることから判断します。問五はとてもよくできていました。波線部イで始まる文は、進化を遺伝子の頻度という観点で論じています。そのような言葉で進化を説明している一文を探します。問六は、全体の論旨を問う問題です。この文章の主旨である、一般に使われる「進化」と生物学用語としての「進化」の意味の違いを説明しているものを選びます。この大問は問三の正答率が低く、ほかは全体によくできていました。